

令和7年度第2回十日町市地域公共交通活性化協議会議事録

日 時 令和7年6月9日（月） 午後1時30分～午後3時

会 場 十日町市役所 防災庁舎2階 大会議室

出席者 委員

十日町市長	関口 芳史
越後交通㈱十日町営業所 営業所長	外山 幸一
南越後観光バス㈱ 乗合営業部長代理	武藤 文昭
東頸バス㈱ 取締役支配人	成田 翼
	(代理: 業務課 小山 峻)
十日町地区タクシー協会 会長	小島 宏
(有)東部タクシー 代表取締役社長	村山 達三
東日本旅客鉄道(㈱) 十日町駅長	吉田 秀明
北越急行(㈱) 担当部長兼営業企画課長	村山 正樹
新潟県十日町地域振興局 地域整備部維持管理課長	得間 謙一
十日町警察署 交通課長	和田 正利
十日町市地域自治組織連絡協議会 会長	川田 一幸
長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻 教授	佐野 可寸志
十日町商工会議所 共立観光㈱代表取締役	原田 千佳子
十日町市商工会 会長	富井 久雄
十日町市地域自立支援協議会 委員	数藤 いずみ
新潟県立十日町高等学校 P T A 会長	村山 浩一
社会福祉法人十日町市社会福祉協議会 理事	佐藤 幸子
一般社団法人十日町市観光協会 副代表理事	桑原 清
国土交通省北陸信越運輸局 交通政策部交通企画課長	新倉 孝礼
	(代理: 交通企画課 高橋 尚輝)
国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官	嶋 肇彦
新潟県十日町地域振興局 地域振興専門員	高橋 正隆

事務局

総務部長	樋口 正彰
建設部長	荒川 哲郎
総務部企画政策課長	田辺 貴雄
総務部企画政策課長補佐	村山 等
総務部企画政策課企画政策係長	酒井 潤
総務部企画政策課企画政策係主任	茂野 克哉
総務部企画政策課企画政策係主任	綱 翔太

オブザーバー

川西支所地域振興課主査	登坂 弘喜
中里支所地域振興課主任	大見 好行
松代支所地域振興課主査	富井 寛人
松之山支所地域振興係長	高澤 雄基

欠席者 委員

公募委員	富澤 恵子
公募委員	山田 智美
十日町市老人クラブ連合会 女性部長	南雲 カツミ
新潟県立十日町病院 事務長	三宅 匠
新潟県交通運輸産業労働組合協議会 所員	倉澤 明里

議 題 報告事項

- (1) 令和6年度の路線バス・市営バス・予約型乗合タクシーの利用状況について

協議事項

- (1) 令和6年度事業報告及び収支決算報告について
- (2) 令和6年度十日町市地域公共交通計画の評価について
- (3) 令和7年度実施予定の地域公共交通計画搭載事業について
- (4) 十日町市地域公共交通計画の一部変更について

配布資料

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 座席表
- ・ **資料 1** 令和 6 年度の路線バス・市営バス・予約型乗合タクシーの利用状況について
- ・ **資料 2** 令和 6 年度事業報告について
- ・ **資料 3** 令和 6 年度収支決算報告について
- ・ **資料 4** 令和 6 年度十日町市地域公共交通計画の評価について
- ・ **資料 5** 令和 7 年度実施予定の地域公共交通計画搭載事業について
- ・ **資料 6** 十日町市地域公共交通計画の一部変更について
- ・ 十日町市地域公共交通計画（新委員のみ配布）

1 開会

(事務局 田辺課長)

定刻となりましたので、これより「令和7年度第2回十日町市地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。本日の司会進行を務めます企画政策課長の田辺と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。また、日頃より当市の交通政策にご理解ご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。早速ですが、次第の「2 挨拶」を関口十日町市長よりお願ひいたします。

2 挨拶

(関口市長)

ご紹介いただきました、会長を務めさせていただいております市長の関口でございます。本日は大変お忙しい中、令和7年度第2回となります十日町市地域公共交通活性化協議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

そして皆様には日頃から当市の交通政策に多大なるご尽力を賜っております。改めまして、感謝を申し上げる次第でございます。

今回人事異動などで今年度より委員になっていただいた方もいらっしゃいますが、昨年度から引き続きの委員の皆様も含めまして、十日町市の公共交通の活性化に向け、お知恵とご見識を是非頂戴いたしたく、ご協力をお願ひいたします。

さて、十日町市の公共交通のマスタープランといたしまして、令和6年2月に十日町市地域公共交通計画が策定されました。その基本方針として、「暮らしと経済活動を支える持続可能な公共交通ネットワークの実現」ということを掲げております、計画期間は令和6年度から令和10年度までの5年間となり、公共交通ネットワークの再編の検討、利用促進、さらに運行の効率化を図るものでございます。

本日の協議会におきましては、令和6年度の公共交通の利用状況をご説明させていただき、令和6年度における計画の達成状況について、評価をしていただきたいと思います。

その後、令和7年度に実施予定の公共交通利用促進事業につきまして、ご意見を賜りたく考えているところであります。この令和7年度に実施予定の事業であります、これは計画に位置付けた事業の具体的な検討を行うために、昨年度立ち上げました分科会において、すでに委員の皆様と意見交換をさせていただいております。この場をお借りいたしまして、感謝申し上げます。

また、路線バスの運行経費に対する国からの補助金の交付を受けるため、計画の一部変更を予定しております、この件も後ほどご説明させていただきます。

公共交通を取り巻く環境は人口減少という中での利用者の減少、さらに交通事業者の皆様におかれましては、運転手不足、また高齢化など、厳しさを増しているものと存じます。そのような環境の中にありましても、公共交通は自動車を持たない学生や、高齢者の皆様等の重要な移動手段であり、地域住民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために持続可能な公共交通ネットワークを構築していかなければならぬと考えているところであります。

また、観光や移住促進の観点からも利便性の高い公共交通ネットワークは必要だと思います。委員の皆様には十日町市にとって最適な公共交通の実現に向けて、さらなるお力添えを賜るようにお願いを申し上げまして、開会のご挨拶とさせていただきます。それでは本日はよろしくお願ひいたします。

出席者紹介

(事務局 田辺課長)

ありがとうございました。次第にはございませんが、この度令和7年4月の人事異動などにより新たに各団体様から委員をご選出いただきました。お配りしています委員名簿の備考欄に「新」と記載してある委員の方が新たに委員となりましたので紹介させていただきます。

初めに No. 4 東頸バス株式会社の成田様、No. 5 十日町地区タクシー協会の小島様、No. 9 新潟県十日町地域振興局の得間様、No. 10 十日町警察署の和田様、No. 16 十日町市商工会の富井様、No. 19 新潟県立十日町高等学校 PTA の村山様、No. 20 新潟県立十日町病院の三宅様、No. 25 国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局の嶋様、No. 26 新潟県十日町地域振興局の高橋様、以上 9 名でございます。

なお、No. 4 東頸バス株式会社の成田様につきましては、本日は小山様から代理出席をいたしております。同じく No. 24 国土交通省北陸信越運輸局の新倉様につきましては、本日は高橋様から代理出席をいたしております。

また、No. 12 の富澤様 No. 13 の山田様 No. 17 の南雲様 No. 20 の三宅様 No. 23 の倉澤様におかれましては本日ご欠席となっておりますのでよろしくお願ひいたします。なお、当協議会の規約第8条第2項によりまして、委員の過半数の皆様からご出席をいただいておりますので、本会議は成立いたしております。

それでは次第の「3 報告事項」及び「4 協議事項」につきましては、十日町市地域公共交通活性化協議会規約第8条第1項に基づき、会長であります関口市長より議事進行をお願いいたします。

3 報告事項

(1) 令和6年度の路線バス・市営バス・予約型乗合タクシーの利用状況について 資料1

(議長 関口市長)

それでは議事進行を務めさせていただきます。本日は議題も多くございます。円滑な議事進行にご協力をよろしくお願いします。お手元の次第に添いまして進めます。

「3 報告事項」(1)「令和6年度の路線バス・市営バス・予約型乗合タクシーの利用状況について」事務局から説明をお願いします。

(事務局 茂野主任)

—**資料1**に基づき説明—

(議長 関口市長)

ありがとうございました。今ほど説明のあった内容につきまして、ご意見、ご質問等をお受けします。挙手の上、マイクをお持ちしますのでご発言をお願いします。

(佐野副会長)

路線バスについてご質問させていただきます。十日町＝魚沼基幹病院線の利用者が増えたというお話をありがとうございましたが、どういう目的の方が増えたのか分かれば教えてください。

(事務局 茂野主任)

魚沼基幹病院線につきましては、十日町から乗って病院であったり、浦佐駅東口まで行かれる方が増えておりまして、目的としては病院に行かれる方が増えている状況でございます。

(武藤委員)

十日町から魚沼基幹病院線を運行しております南越後観光バスでございます。日頃より弊社路線バスにご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

今の件について、補足させていただきます。令和5年から令和6年で1.4倍ということで、元の数字が少ないので1.4倍といつてもお恥ずかしいような数字で大変恐縮なんですが、増えた要因としましては、当然十日町から病院へ行かれるお客様も若干ではございますが、増えております。

大きいところでは、実験運行中は南魚沼市側をクローズで運行しておりましたのを令和6年度からオープンドアで運行した関係で、その分の増加も含まれておりますので、市街地のご利用が増えたというわけではなくて、いわゆる山の向こう側、南魚沼市側でのご利用が増えたというところも1.4倍になった要因の一つとなっておりますので、補足させていただきます。

(議長 関口市長)

他にございませんでしょうか。それではご意見等が無いようですので報告事項は以上とさせていただきます。

4 協議事項

(1) 令和6年度事業報告及び収支決算報告について **資料2 **資料3****

(議長 関口市長)

続きまして次第の4 協議事項に移ります。

協議事項の（1）「令和6年度事業報告及び収支決算報告」につきまして、事務局から説明をお願いします。

（事務局 綱主任）

—資料2、資料3により説明—

（議長 関口市長）

以上で説明が終わりました。令和6年度会計につきまして、決算監査を受けております。監査員であります原田委員から監査報告をお願いします。

（原田委員）

—監査報告—

（議長 関口市長）

ありがとうございました。それでは今ほどの説明、及び監査報告にございました内容について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手の上、ご発言をお願いします。

ご意見等ないようですので、議決に移ります。

協議事項（1）「令和6年度事業報告及び収支決算報告」につきまして、承認される方は挙手をお願いします。

—挙手—

皆様から挙手をいただきました。協議事項（1）につきましては承認をいただきました。

（2）令和6年度十日町市地域公共交通計画の評価について 資料4

（議長 関口市長）

続きまして協議事項（2）「令和6年度十日町市地域公共交通計画の評価」につきまして、事務局から説明をお願いします。

（事務局 茂野主任）

—資料4により説明—

（議長 関口市長）

ありがとうございました。それでは今ほど説明のありました内容につきましてご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。

(武藤委員)

今の計画の中で、昨年私ども「YukiMo!」というのを実験的に運行させていただいたんですが、なかなか要員的に厳しい部分もあります。また、並走する路線各自治体さんのご意向だとか、補助系統に乗る乗らないだとか、そういう懸案事項もありますので、複数自治体に係る協調補助、国庫補助路線の場合、この後の議題で森宮野原＝湯沢線の国庫補助系統になるという案件も出てくるかと思いますが、こういう事案については関連自治体と引き続き協議、調整をよろしくお願ひしたいと思います。

また、今年度の「YukiMo!」ですが、去年より運転手の状況が厳しくなっておりまして、「Yukimo」のお話も聞いておるんですが、どの程度お受けできるか、今後相談させていただければと思っております。おそらく去年程の運行は要員的に厳しいと思いますので、日数あるいは便数等を絞った中運行できればと考えておりますが、また相談させていただければと思いますのでよろしくお願ひいたします。

(佐野副会長)

「YukiMo!」についてご質問ですけれども、「YukiMo!」の運行により既存路線バスも増えたというお話でしたが、何人くらいが何人に増えたのか教えていただけますか。

(事務局　酒井係長)

資料1の参考資料というものをご覧いただきたいと思います。A4の横書きの1　路線バスの利用状況、系統別になっているものでございます。グラフの資料の次の資料に、参考資料の路線バスの利用状況がございまして、南越後観光バスさんが運行される系統の中に上から4つ目、湯沢車庫前＝十二峠・清津峡＝森宮野原駅、ここでは令和5年度、バス年度でございますので、令和4年10月から令和5年9月までになっておりますが、ここで令和5年度には28,787人だったところが、令和6年度では32,904人ということになっております。実証運行の期間中だけの比較はできませんが、このように系統では増加しているというところでございます。

(武藤委員)

湯沢、清津峡、山崎、中里を通って森宮野原までの路線ですが、令和5年度から6年度と増えている大きな要因としましては、津南中等に通われるお子さんが増えたというのが一番大きい要因です。

湯沢町、南魚沼市、そして十日町市さんの国道353沿線から津南中等学校に通われる生徒さんが増えたということが、一番大きな原因で、誠に申し訳ございません。「YukiMo!」に対しての増加というのは正直なところ、私どもではそれほど認識はしておりません。

(佐野副会長)

減少したというところの認識はされてますか。「YukiMo!」に取られたってことはありませんか。

(武藤委員)

若干あるようですが、ちょっとその辺がどこまでこういう公の場で正直お話ししていいのか、非常に微妙なところではあるので、いろんなご担当の方もおられますので、横ばいということで、若干の時間によってはスライドされたところもありますが、そのような状況でござります。

(佐野副会長)

資料のこの表現だと「YukiMo!」の運行によって並走の路線にもいい影響が出たような書きぶりになってると思うので、その辺がまだよくわかってないので、事実だけを記述した方がよろしいかと思います。

(事務局 茂野主任)

その部分は削除させていただきます。資料の裏面、目標4の達成状況・分析という中ほどにありますけれども、指標7のところ、ポチの上から3つ目で、「YukiMo!」について実証期間中に6,343人の利用があったほか、既存路線バスの利用者数の増加にも影響しており、ところで、利用者数はそのまでいいと思いますが、既存路線バスの利用者数の増加に影響があったかどうかはわからないということですので、その部分は削除をさせていただきたいと思います。

(議長 関口市長)

それでは、一部そうした手直しをするということで、「令和6年度十日町市地域公共交通計画の評価について」ご承認される方は挙手をお願いします。

一挙手

ありがとうございます。皆様からご承認いただきました。それでは協議事項(2)につきましては承認をいただきました。

(3) 令和7年度実施予定の地域公共交通計画搭載事業について 資料5

(議長 関口市長)

次に、協議事項の(3)「令和7年度実施予定の地域公共交通計画搭載事業について」であります。事務局より説明をお願いします。

(事務局 茂野主任)

—資料5により説明—

(議長 関口市長)

それでは今ほど説明のありました内容につきまして、皆様からご意見、ご質問等ございましたら挙手の上、ご発言をお願いします。

(佐藤委員)

高齢者に対する運賃割引事業ですが、申請のあった高齢者に対してとなっておりますけれども、申請はどういった形を考えていらっしゃるんでしょうか。ご高齢になるとなかなかその申請の作業が難しくなったりするので、できるだけ簡略なものが望ましいかと思うんですが。

(事務局 茂野主任)

ありがとうございます。申請につきましては、市報で申請書の様式を送らせていただきまして、それを記入していただき、市役所に返送いただく形を考えております。記載内容については簡単なもので考えておりますし、代理申請なども可能にできればと思っております。

また、郵送のほか、電子申請も考えてます。郵送の手間もありませんので、高齢者の方は難しいかもしれません、例えばご家族から手伝っていただきながら、電子申請でやっていただくか、もしくは、先ほど申し上げた郵送での形で考えております。

(高橋委員)

十日町地域振興局の高橋と申します。

高齢者に対する運賃割引について、1点ご確認させていただきたいのですが。1人3,000円で割引の方法が事業者様によって異なるというお話をしたが、利用者様が、私はほくほく線で割引きいくら欲しいですか、越後交通さんのバスでいくら欲しいですか、といった選択をするものなのでしょうか。

(事務局 茂野主任)

ありがとうございます。おっしゃるとおり、選択する形で考えておりまして、上限3,000円ですが、1,000円単位で割引券を送付する形を考えておりまして、私はほくほく線で使うので、1,000円は市が作った割引券をもらいたいし、残りの2,000円は越後交通さんの回数券を使いたい、合計で3,000円になる形で選択していただく形で考えております。

(議長 関口市長)

よろしいでしょうか。それではご意見等がないようですので、議決に移ります。

協議事項（3）「令和7年度実施予定の地域公共交通計画搭載事業について」ご承認いただけ
る方は挙手をお願いします。

一挙手一

ありがとうございます。協議事項（3）について、ご承認いただきました。

（4）十日町市地域公共交通計画の一部変更について 資料6

（議長 関口市長）

次に、協議事項（4）「十日町市地域公共交通計画の一部変更について」、事務局より説明をお
願いします。

（事務局 総括）

—資料6により説明—

（議長 関口市長）

今ほどの説明につきまして、ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。

（武藤委員）

運行をご依頼いただいております森宮野原・津南・清津峡・越後湯沢線を国庫補助路線とい
うこと、乗車密度が一定数確保できるような状況になりましたので、国庫補助路線にさせて
いただきたいという内容でございますが、この変更の記載内容が、赤枠で囲ってあるところ
が、私ども、この下の基幹病院線と同じ認識で、沿線の自治体さんからのご依頼での運行路線
ということで考えておるんですが、交通事業者が運行ということで書いてありますが、この辺
はいかがでしょうか。

基幹病院線と同じで、自治体さんから、沿線協議会の5自治体さんからのご依頼で運行して
いる路線だと考えておりますが、私ども自主的に運行している路線ではないというところで、
その辺がどちらかというと基幹病院線と同じ扱いなのかなという認識で思いました。自治体さ
んからのご要望、ご依頼で運行している路線だという考え方なんですが。

（事務局 田辺課長）

どこまで詳しく記載するかもありますが、表現については、修正が必要であれば、修正させ
ていただきます。

（武藤委員）

もう一点なんですが、今かろうじて国庫補助路線になるという数字になんとか上がったんですけども、先ほどの MaaS ですとか臨時バスですとか、そういうものの影響により、非常に微妙な数字ですので、今後の動向によっては国庫補助路線を、また 2 年後、3 年後に逸脱して、県単補助になってしまふという可能性もゼロではありませんので、並走する臨時バスのようなものは、自治体さんとよく協議、調整して慎重に取り扱っていかないといけないかなと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(事務局 田辺課長)

ありがとうございます。先程もこの「YukiMo!」についてもお話をありましたけれども、こちらにつきましては、森宮野原線は基本的には、朝に越後湯沢を出て、夕方に越後湯沢に来るというのが平日のスタイルでありますと、清津峡へ行くお客様は、朝ですと早すぎるので「YukiMo!」の日中のちょうど良い 9 時～10 時台の便で湯沢で乗って帰ってくるということがまず一つ、時間が違うというところで、利便性は高まっているというのが一つあります。

また、清津峡の国道のところの降り口から 2 キロ歩いて清津峡まで行く。今までがそうでした、「YukiMo!」を運行することによって、そこをワンマイル便で、バスが往復で出ているという利便性を森宮野原線のお客様も使えるようになりました。非常に利便性が高まったという認識、分析をしておりますので、それで便利な路線として、森宮野原線も利用されるお客様も増えていると認識しております。

中等の学生も朝は乗ってる人はいるとは思いますが、お互い相乗効果があったと我々は認識をしているところであります。まず、そちら詳細な分析等は、またデータがあれば提供していただけたら大変参考になりますのでよろしくお願ひいたします。

(議長 関口市長)

他にいかがでしようか。それではご意見等ないようすで議決に移ります。

協議事項 (4) 「十日町市地域公共交通計画の一部変更について」ご承認いただける方は挙手をお願いします。

一挙手

ありがとうございました。協議事項(4)について、ご承認をいただきました。

(議長 関口市長)

以上で議事は終了いたしました。本日は誠にありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。

(事務局 田辺課長)

皆様、大変長時間にわたりご協議いただきましてありがとうございました。それでは閉会にあたりまして副会長の佐野教授からご挨拶を頂戴したく、よろしくお願ひいたします。

(佐野副会長)

長岡技術科学大学の佐野です。皆様お忙しい中、協議会にご参加いただきありがとうございました。議題の中にもありましたけども、需要側では人口も減って、利用も減っているし、供給側の問題としては、ドライバーの方もどんどん減っているというような二重苦、三重苦のところですが、皆様のお知恵を拝借しながら、よりよい公共交通が作れればと思っております。本日はありがとうございました。

(事務局 田辺課長)

ありがとうございました。それでは以上を持ちまして閉会といたします。本日は大変ありがとうございました。

閉会 午後3時